

事務局だより

事務所 ☎ 03-3824-9128

- 第76回示現会展に向けて
- 懇親会・審査員について

裏面 ○<特集> 監査報告
展覧会報告

ようやく春らしくなってきました。桜の花がきれいですね。
コロナの制限がだいぶ緩やかになってきました。しかし、井上事務責任者の言葉にあるように、感染防止等については問題があると思います。十分に気を付けていきましょう。

第76回示現会展に向けて 展覧会、その他の行事などの検討

理事会開催

二月も半ばをすぎ第七六回展の搬入まで半月から一か月足らずとなりました。特に支部の人達は早めの集荷ですから、忙しい毎日でしょう。コロナの新規感染者の対応については、行政は匙を投げた感があります。連日続いていた関連報道も随分少なくなった気がします。賢明なる国民の個々人の判断に任せるといふことでしょうか。



事務責任者
井上 武



二月十四日、示現会館にて監査、及び理事会が開催されました。
理事長はじめ事務局の役員が出席し、監査役立会いの下、令和四年度の監査を実施しました。監査結果については問題なく終了しました。
引き続き、理事会が開催され、第七六回示現会展の概要などを検討いたしました。
コロナ禍の三年間で示現会の行事などが制限され、非常に厳しい有様でした。今後は状況に合わせて行事など実施していく事が確認されました。

しかし一方では、極々身近な人達が感染し、以前のような医療を受けられないという話も聞きます。まだまだ油断の出来ない中で展覧会開催です。基本的な感染対策の下、粛々と実施するつもりです。基本的な三密対策は踏襲します。
即ち、密閉、密集、密接を避けつつの展覧会の準備開催となります。会員の皆様には、引き続きのご不便を強いることとなりますが、よろしくご協力お願いいたします。

76回示現会展・日程

3月7日	定時会員総会
3月19日	用品準備
3月23日	受付設営
3月24日	業者搬入
3月25日	個人搬入
26日	
3月27日	写真撮影
3月28日	理事会 審査鑑別
3月29日	審査鑑別
3月30日	常務理事会 理事会 HP 入選発表
3月30日	賞・昇格者発表
4月4日	作品陳列
4月5日	開会 表彰式 懇親会
4月6日	支部長会
4月11日	休館日
4月17日	閉会 撤去
4月18日	搬出
19日	業者搬出

懇親会のお知らせ

懇親会は2月28日時点で参加の意思表示をいただいた方のみで実施いたします。

4月5日(水)10時開場で第76回示現会展が始まります。この日は表彰式そして懇親会が開催されます。懇親会につきましては、会友以上の皆様には、すでに案内の用紙、及び出欠席の有無を確認する返信用葉書を2月28日締め切りでお送りしております。これは、案内にありますように、会場となる上野精養軒の入場者の人数が決まっておりますので前もって出欠席の人数を確認いたします。受賞者、及び一般の入選者につきましては決定次第連絡いたします。やはり人数制限がありますので、人数に達し次第締め切りさせていただきます。

- ※ 出席の案内を出した後、欠席の場合は早目にそして必ずご連絡ください。
- ※ 当日の欠席はキャンセル料が発生いたします。ご了承ください。

審査鑑別について

今年度も会場となる美術館の使用については人数の制限があり、昨年に引き続き、本部役員による審査 鑑別になります。

<審査鑑別にあたるもの>

成田禎介、鈴木 實、井上 武、中川澄子、佐藤祐治、錦織重治、宮定眞弓、武 敏夫、大淵繁樹、石橋俊博、土田恒夫、渡邊良一、徳田則子、小材啓治 大瀧弘子、三杉和子(以上16名)

<進行・記録> 委員24名



先日配布したリーフレットに間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

- 会期中の休館日は 4月11日(火)
- コロナ対応のところで自身の体温より1度以上高い場合は来場を遠慮する。



特集1

監査終了

総会資料をご覧ください

成田理事長はじめ、大滝、三杉両監査役、事務局員、そして担当する会計士の岡部先生出席のもとで2022年度の事業、会計の監査を行いました。



岡部正義・公認会計士・税理士



大瀧弘子

示現会の定款には監事の役割として会の事業の内容を把握し業務及び財産の状況を調査することとあります。示現会是一般社団法人としての保証を受けていますから正確な会計の収支決算が求められることになります。

2月14日に令和4年度の会計監査が行われました。公認会計士のご協力を得て細部にわたって正確な収支決算がなされており、本部および各支部の会計係の方々のご尽力に感謝したいと思います。

総会のお知らせ

2023年度総会は「紙上定時会員総会」として3月7日が開催日とし、この日に集計した書面(葉書)で決議いたします。

示現会館に総会の会場はありません。ご注意ください

会員の皆様におかれましては、議決権行使書面にて議決権の行使をしていただき、総会の議決を執り行います。

特集2 ちょっと紹介

2つの展示会を紹介いたします。
1つは本会理事で熊本支部長の小材啓治さんの美術館主催の展示会と、
愛知支部の示現会三河展です。
どちらも大勢の観客でにぎわいました。



「示現会三河展」会場の様子

会期中の様子や成果

○愛知県の東都に当たる、主に三河地区の作家が集まって行われた第3回目の三河展である。前回の展示状況を踏まえ展示会場を広くし、参加者28名(昨年20名)、小品から大作まで合わせて48点(昨年29点)を展示することができた。

○支部長などから批評や表現指導を受け、今後の課題にすることができた。さらに、一般出品の方に対して作品批評や日頃からの制作への構え、モチーフのとらえ方や構図の工夫などの話し合いができたので、参加者同士が一体感をもつことができ、作品研究の場になった。

入場者の多くは、主に出品者からの案内や、新聞掲載、テレビ放映で知り来館されていた。作者が作品の意図や経過等を入場者に説明し、和やかな雰囲気であった。また、「一つ一つの作品に深みがある[感想]」と、作品に魅入られる方も多かった。

○その他

- (1)一般出品者の中から新たに本展へ3名ほど挑戦する方々が出来た。
- (2)今年は昨年に増して出品者・作品点数・入場者が増え。賑やかな展示会となった。来年もまた同時期に同館で開催予定です。さらに出品者数が増えることを期待している。
- (3)具象絵画の魅力を多くの方に知っていただけるよう会の紹介をしていく。また、一人でも多く新しい方を誘い入れていきたい。

愛知支部 事務局 杉浦春一

古墳をモチーフにした作品の前に立つ小材啓治さん
＝熊本市中央区



古墳描いた油彩など15点

現代美術館で「小材啓治」展

洋画家の小材啓治さん(75)「山鹿市」の個展「小材啓治 私の風土記」展が18日、熊本市中央区市現代美術館ギャラリーで始まった。3月5日まで。古墳や阿蘇の風景を題材にした油彩を中心に、ここ20年間の作品を一覧できる。

小材さんは示現会会員。これまで日展の特選や、示現会展の文部科学大臣賞などを受賞し、昨年から県美術協会会長を務める。個展には受賞作など15点を展示。妻啓子さん(75)も油彩1点を出品した。

「地元にも多く現存する装飾古墳に魅力を感じ、実在する古墳を参考にしながら創作を交え文様などを描いてきた」と話す。日展特選に選ばれた「馬と兵士のいる古墳」は、古墳に使われた顔料「ベンガラ」をヒントにした赤みがかった色合いが印象的だ。阿蘇の岩肌を描いた「阿蘇火口」は、地獄の底に引きずりこまれるような火口の不気味さを表現したかったという。

「自分のこれまでの創作活動を振り返る機会をいただけてありがたい」と小材さん。22日午後2時から、会場でアーティストストークがある。入場無料。(園田琢磨)



ギャラリートーク「小材啓治展」

示現会のいろいろな案内はホームページに掲載されます。ぜひご覧ください。

皆様からのニュースをお待ちしています。
メール先佐藤祐治宛
sato_y_@d6.dion.ne.jp

